

1 目的

「みやぎ教育の日」の趣旨を県民に広めることにより、教育に対する県民の意識を高め、明日を担う宮城の子どもたちを育む。

2 日時

令和6年11月1日(金) 午後1時30分から午後4時まで

3 会場

ホテル白萩 錦の間

4 主催

宮城県教育委員会 みやぎ教育の日推進協議会



昨年度の開催の様子



R6みやぎ教育の日ポスター 制作:仙台市立中田中学校美術部

5 内容

(1) 開会あいさつ

宮城県教育委員会、みやぎ教育の日推進協議会

(2) 人権作文発表

宮城県白石高等学校

1年 大内 <sup>あまね</sup>天寧さん

「『受け止める』姿勢で」

(3) 映像での実践発表

大河原町立大河原小学校のみなさん

「全校暗唱読本発表会に向けて」

(4) 講演

講師 鈴木 洋子 氏(石巻市立門脇小学校 元校長)

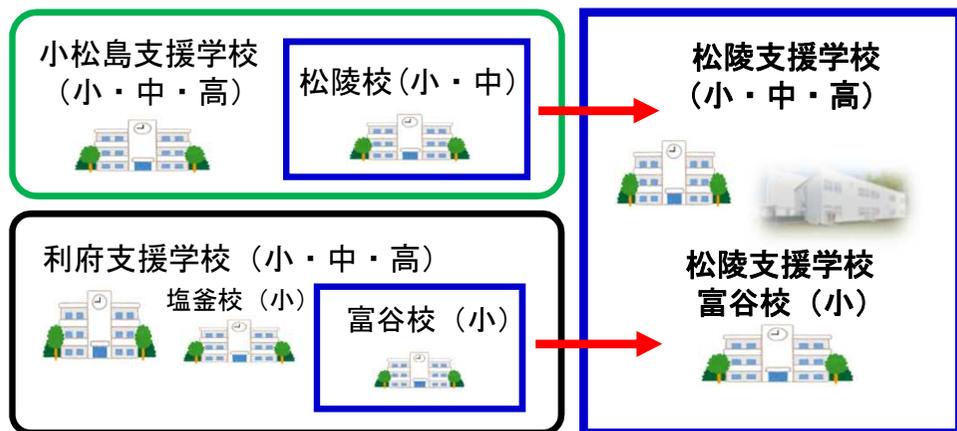
演題 「東日本大震災 ―その時学校は―」

(5) 閉会あいさつ

みやぎ教育の日推進協議会

## 【概要】

仙台圏域における知的障害特別支援学校の狭隘化解消のため、小松島支援学校松陵校に新しく高等部を設置し、令和7年4月に新しい支援学校として独立・本校化する。また、利府支援学校富谷校が、新しい支援学校の分校となる。

1 校名 みやぎけんりつしょうりょうしえんがっこう

「宮城県立松陵支援学校」

みやぎけんりつしょうりょうしえんがっこうとみやこう

「宮城県立松陵支援学校富谷校」(分校)

## [選定理由]

これまでの「旧仙台市立松陵小学校」及び「小松島支援学校松陵校」と同じく地域の名称を使い、地域との積極的な関わりの中で学校運営を行っていくにふさわしい名称であると判断した。

## [検討経過]

新設校に係る特別支援学校から応募された候補を、「県立学校校名選定委員会」において検討及び協議を行い、校名案を選定した。

## 2 児童生徒数(見込み)

設置学部	学級数	児童生徒数	学級数合計 児童生徒数
小学部	9学級	30人	32学級 130人
中学部	11学級	40人	
高等部	12学級	60人	
富谷校(小)	10学級	50人	10学級 50人

※ 高等部は、年次進行で入学となるため、一学年は20人程度を見込んでいる。

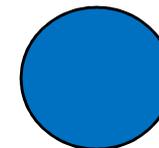
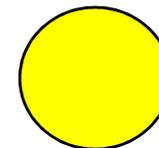
## 3 基本理念

健康 チャレンジ 自立

～地域に貢献し、地域と共に成長するコミュニティ・スクール～

## 4 スクールカラー

黄色と青色の二色



## 5 通学区域

学校名	通学区域 (令和7年度)	
宮城県立 松陵支援学校 (小・中・高)	仙台市	泉区 七北田中学校区のうち 七北田小学校区及び市名坂小学校区 将監中学校区のうち 将監中央小学校区及び将監西小学校区 向陽台中学校区、将監東中学校区、鶴が丘中学校区、松陵中学校区、八乙女中学校区
	宮城野区	岩切中学校区、田子中学校区
宮城県立 松陵支援学校 富谷校 (小)	富谷市	域内の小学校 ※ 中学部・高等部1年生は 宮城県立松陵支援学校へ通学
	大和町	
	大衡村	

## 6 校章



県内の特別支援学校等の応募作品から泉松陵高等学校第1学年赤間由香さんのデザインが採用された。

その原案をもとに、宮城野高等学校美術科の生徒が協力し、色やデザインの補正を行い、校章が完成した。

### [コンセプト]

全体は、「希望」や「喜び」の象徴とされる太陽をモチーフにしている。12年間の連続した学びを通して、入学した子供たちの小さな葉が太陽の光を浴びて、卒業するころには大きな樹木へと成長する様子が描かれている。

## 7 校歌

作詞：梶原さい子氏[宮城県田尻さくら高等学校教諭]

作曲：曾我道雄 氏[元仙台市立荒町小学校長]

## 8 制服(奨励服)、体操着

### [制服(奨励服)]

スクールカラーの黄色と青色を取り入れて「松陵らしさ」を表現し、未来へと続く長く愛されるデザインである。ブレザーは、ストレッチ素材で着心地が良く、ジャケットを着られない生徒でも快適に着用できる。



### [体操着]

小学部から高等部まで着続けられる紺色をベースに、スクールカラーの黄色をワンポイントに使用している。子供たちの安全に配慮し、動きやすい素材を使用するとともに、背面と足元には反射材が付いている。

